

花ノ木

第 118 号

令和 6 年 1 月 28 日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

H.P <https://kyoto-hananoki.jp/>

金融市場の

正常化を前にして

— 甲辰歳の展望 —

令和六年 正月

社会福祉法人花ノ木

理事長 山内

一



ゼロ金利の解除が近づきつつあるとの予想が現実的になってきました。金利とは、経済学では「モノの価格」を表します。失われた

三十年と言われ、デフレ経済、モノや賃金が下がり続けた時代の証がマイナス金利だといえます。マイナス金利がゼロ以上になることは、モノや賃金上がる経済になることを意味しますので、我々にとって明るい希望が見えてきたと期待が膨らみます。

今年七月新紙幣になり、一万円札に渋沢栄一氏が登場します。日本経済の礎を築かれて有名ですが、日本赤十字社の設立や社会保険制度の根幹となる救護法の制定に奔走されたことはもっと国民に知られていい活動だと思えます。社会の繁栄のための行動とその土台となる人々の健康や福祉を支える仕組みが両輪となる社会のシステムを構築するという強い彼の意志を重視すべきです。

私たち重症心身障害に携わるものに身近だった全国の「守る会」前会長の故北浦雅子さんは渋沢氏

のひ孫に当たります。彼女の重症心身障害児者活動に対する情熱は渋沢氏の情熱の引継ぎ者だったことを示していると思います。

創設五十周年をお祝いして六年の月日があっという間に過ぎ去り、後半三年は新型コロナウイルスの禍に見舞われ閉門蟄居状態の時間を過ごしました。法人として中長期計画を作り、さあこれからという時だっただけに悔しさが残ります。

さらに追い打ちをかけたのが、ウクライナやガザの地域紛争、五〇年ぶりといわれるインフレ・物価高騰の襲来でした。

甲「耐え忍ぶ状態」と辰「活力が旺盛になる」が合わさる今年には明るさを求めて前進に動き出す年と期待されています。金融市場の正常化もこの動きの現れだと考えられます。

失われた三十年の間に介護保険制度や障害者総合支援制度が生まれました。こうした職場で働く方々を含めエッセンシャルワーカーが社会で果たす役割がコロナ禍でしっかりと認知され、政府の今年の予算ではこうした方々の給与改善を目的に医療費や介護・障

害報酬のアップ改善が図られています。動き出す年に取って吉兆であります。

当法人としても、中長期計画の実行によりやく着手できる準備ができました。今年、重症心身障害者のための初めてのグループホーム建設に着手します。続けて、病棟の大規模増改築にも手をかけます。選ばれる施設と脱皮していく年にします。

渋沢氏や北浦さんの情熱に共感し、微力ではありますが安心してできる社会のシステムの一翼を担う施設として活動できる内容をしっかりと形にしていきたいと思っております。

職員の方々には活力をもって、これからの社会にとって福祉・医療のより良い方向付けを考え、法人の計画推進に活かしていただきますようお願いいたします。また、保護者や後援会の方々にも賛同いただき、力強いご支援を賜りますことを願ってやみません。

今年が入通所者はじめ皆様にとって幸多き年でありますことを願っております。



クリスマス会特集



第一病棟

第一病棟は12月14日にクリスマス会を、感染対策に気を付けながらエリアを分けて実施しました。

まずは女性エリアから、司会の紹介を受けて2人のサンタと1匹のトナカイが登場！一気にクリスマスモードに♪2人のサンタと1匹のトナカイがハンドベルで『もろびとこぞりて』『あわてんぼうのサンタクロース』『ジングルベル』『たきび』『きらきら星』『きよしこの夜』の演奏を披露しました♪利用者さんは演奏にゆったりと聴き入っており、アンコールが起きたほどでした。

男性エリアに移動し、ハンドベルを2回に分けて演奏。利用者さんは演奏に合わせ『お〜！』と元気な掛け声で盛り上がり、とても賑やかな雰囲気でした♪

演奏後には、トナカイを引き



連れてフィンランドから？はるばるやってきた大きな袋を背負ったサンタさんが登場し、利用者の皆さんは『何がもらえるのかな〜』ととてもキラキラした表情をさっていました。

今回はハンドベルのきれいな音色で、クリスマスの雰囲気病棟にあふれました。

(生活支援員 利長 岳)



第二病棟

第二病棟は12月18日にクリスマス会を予定していました。しかし、当日はインフルエンザが病棟内で流行しており中止にさせていただきました。

サンタが落とされたプレゼントを探してください！というポスターを病棟内の数カ所に貼り、当日は宝探しならぬプレゼント探しをすることにしました。でも、25日のクリスマス当日、病棟閉鎖も解除となり、各部屋をサンタとトナカイが回りプレ



ゼントを渡していきました。クリスマス会こそ実施できませんでしたが、病棟の隔離解除になってからは、クリスマスの飾りつけがしてある多目的室へ行き雰囲気を楽しむこともできました。

コロナが2類から5類の感染症に変わり、少しずつ病棟での過ごし方、外出、面会などが日常に戻りつつある中で、改めて感染症の怖さを思い知らされました。クリスマス会を楽しみにしていただいていた利用者の方々には非常に申し訳ないこととなり、職員一同残念でなりません。来年こそはリベンジで楽しい会となりますように！！

(生活支援員 高雄 明)



第三病棟

第三病棟では12月17日にクリスマス会を行いました。

午前中から飾りつけが始まり、病棟は一気にクリスマスモードに！既にエアースタンの前に寝ころび、じっと見つめる利用者さんもおられ、午後、いよいよクリスマス会が開始！クリスマスミュージックを流してサンタやトナカイの衣装に身を包んだ職員がプレゼントを持って病棟

内を回りました。利用者さんはプレゼント紹介を聞きながら、

普段見慣れない瓶に入った



シャンメリーを見て、早く飲みたい！と顔を近づける方や、おしそうに飲む姿が見られました。プレゼントにも興味津々！包まれたプレゼントを開け、早速一緒に楽しみました。特に人気があったのはスタンドライトとミラーボールライト。キラキラと色を変えて光るスタンドライトをじっと見つめる利用者さんや天井を照らすミラーボールを指さす利用者さんの姿など多くの笑顔が見られました。今回のクリスマス会では西と東エリアが交流し、一緒に写真撮影や装飾をしました。

感染予防や体調面に気を配りながらでしたが、無事クリスマス会を行うことができました。

2024年も利用者さんと一緒に楽しい時間が過ごせたらと思います。

(生活支援員 岩本 舞)



第五病棟

12月13日(水)に第五病棟でクリスマス会を行いました。利用者さんは、クリスマス会開始までの間、順番に多目的室のクリスマスコーナーを見に行き、クリスマス音楽に合わせて色々な電飾がチカチカと光っている様子を不思議そうに見つめ、クリスマス霧囲気を楽しまれました。病棟内では4か所の写真撮影スポットを作りました。イルミネーションの部屋ではクリスマス音楽に合わせて色々な光が点滅している様子を目で追われ、声を出して笑顔を見せる利用者さんもいました。

今年(今年)は京都洛中ロータリークラブの方がサンタクロース、トナカイ、クリスマスツリーの衣装で来訪くださり、利用者さんへ順番にプレゼントを渡していただき、皆さんとても嬉しそうでした。最後にみんなで「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました。「赤鼻のトナカイ」は毎日歌の練習をされクリスマス会を楽しみにされていた利用者さん



さんがサンタクロースの衣装を着てマイクを持ち、職員と一緒にとても嬉しそうに歌われていました。

いつもとは違ったクリスマス会となり、とても楽しい雰囲気で開催することが出来、とても良かったと思います。

(生活支援員 吉田 望)



はなのき通所

12月12日に通所のクリスマス会を行いました。今年は3年ぶりに多目的室で実施することができ、入り口には、利用者さんの写真をオーナメント風にしたり、飾り、皆さんに見ていただけました。



クリスマス会は、通所お馴染みのトーンチャイムの演奏で幕を開けます。賑やかな雰囲気になった後は、マリンバ・グロッケン・鈴・ギターで『ジングルベルロック』を合奏し、一気に明るく雰囲気になりました。続いて、更なる盛り上がりを見せた『サザエさんダンス』。サザエさんに扮した職員が全力のダンスを披露し、皆さん笑顔を見せておられました。

そしていよいよ、お楽しみのおプレゼント争奪数字取りゲームです。ランダムに置かれた数字の周りを、音楽に合わせて回り、音楽が止まると近くの数字を取って、その数字のプレゼントが利用者さんへ届けられました。なかなかプレゼントが届かず不安そうに待つ利用者さんもいましたが、サンタさんがプレゼントを持ってきてくれると、嬉しそうに受け取っておられました。職員も一緒になって、白熱した戦いに歓声も上がりました。

クリスマス霧囲気を感じながら、利用者さんに楽しんでいただけの機会となり、良い一日になりました。

(生活支援員 竹村真紀)



児童発達支援センター

11月~12月にかけて、児童発達支援センターエントランスに、「おひさま」と「ココはなのき」を利用する子どもたちの作品がたくさん飾られました。ココはなのきからは大きなツリーのタペストリー。おひさまからは

ブーツやツリー、リース、雪だるまなど



が飾られ、とても賑やかです。創作活動だけでなく、Aちゃんは、みんなで作った折り紙のリースがとても気に入り、休み時間に同じ作り方の小さいリースを作って、おうちを持って帰りました。Bくんは、自分で作った切り紙の雪の結晶を『先生、僕の(飾り)も(エントランスに)飾って』と嬉しそうに頼んでいました。Cくんは、普段活動に集中しにくいところがありますが、折り紙をちぎって台紙に貼りつけ、クリスマスツリーやサンタさんのお顔を作る活動に一生懸命、とても丁寧に取り組んでいました。



「上手にできたか」だけでなく、『作って楽しかった!』と感じ、一緒に作業しているお友だちや先生と『楽しかったね!』『上手にできたね!』と活動や気持ちを共有できることが大切です。「おひさま」「ココはなのき」の職員は、子どもたちの『楽しかった!』の笑顔を目標に日々活動に取り組んでいます。

(こども療育係 心理判定員 高橋良子)

掲示板

はたちになられた皆さん
おめでとーございませす

甲斐天翔さん



甲斐天翔さん「20歳のお祝い」を迎えられたこと、お喜び申し上げます。

天翔さんが花ノ木に來られて、もうすぐ16年。これまで沢山の方との出会いや繋がりを紡いでこられ、何より天翔さんの幸せを願っておられるご家族や学びの楽しさを共に感じてこられた学友・先生に支えられ、よりよい生活を目指し花ノ木も寄り添います。

まずは、毎夕のストレッチでやわやわボディを作っていくましよう！

これからの青年期がより天翔さんらしく彩られるよう願っております。

(第五病棟 生活支援員 渡部崇充)

小林 幸来さん



小林幸来さん、はたちを迎えられ、おめでとーございます。ご家族の皆様、重ねてお慶びを申し上げます。

5歳で花ノ木へ入所された当時、乳幼児は少なく、職員はもちろん他人入所者さんのアイドル的存在だったと聞いています。

体調面など大変だった事も一つ一つ幸来さんの頑張りで乗り越え、小中高と支援学校に通学されました。現在は第二病棟でお姉さんの役割を担い、様々なお手伝い活動をされています。

幸来さんのこれからの人生も彩り豊かとなりますよう職員一同心より応援しています。

(第二病棟 生活支援員 吉岡美佐子)

花ノ木の動き

(令和五年十一月二日〜令和五年十二月三十一日)

11/1 所内研修「身体拘束適正化・虐待防止」

2 理事会

9 所内研修「院内感染対策」

停電時対応訓練

18 情報発信事業「食事支援のための講習会」

12/1 評議員会

医療管理棟等防災訓練

6 所内研修「健康講座・睡眠を整える」

13 病棟クリスマス会(18)

28 仕事納め

ありがとうございました
寄付・寄贈 (敬称略)

◎寄附
公益財団法人 日本財団
「重症心身障がい児(者)施設への感染症等対策にかかる機器整備費」

編集後記

今年の世界的なイベントといえばパリ五輪。パリといえば、20年くらい前に一度だけ訪れた事がある。季節は6月、パリは暑かったが湿気が少なく過ごしやすかった。サマータイムで夜の9時を過ぎて外は明るく、散策やカフェを楽しんだ。石造りの建物の合間の細い路地を歩いたり、映画のロケ地巡りもした。映画のシーンに出てきたモニュメントを見つけた時は感動した。ルーブル美術館ではそのスケールに圧倒され、一方モナリザがガラスの奥の方に嚴重に展示され、小さく見え少しかかりした。また、エッフェル塔では展望台から見た調和のとれたパリの景観は格別であった。散策好きとしては、とても魅力の多い街ではあったが、公衆トイレはなかなか見つからないし、日本にあるような便利なコンビニもない。少し不便さもあったが、覚えてたの片言のフランス語が結構役に立った。思い出のあるパリだが、オリンピックは100年ぶりだ。どんな名勝負があるのか楽しみである。

(編集委員 灰川史朗)